

「さあ おつとめ」 〈いのり〉

～親神様との対話～

プログラムのねらい

- 親神様との対話「いのり」について考える
- 人のために祈る大切さを理解する
- 日常生活でおつとめをつとめるよう呼びかける

プログラムの構成

			時間配分
《導入（起）》	《おしゃべりタイム》	自己紹介 “神様”に何を願うのか	15分
《気づき（承）》	《おしゃべりタイム》	こんなこと祈っているの？ 全体発表	20分 10分
《学習（転）》	《おはなし》 《おしゃべりタイム》	人のために祈ること 祈った／願ったことありますか？	10分 25分
	《本読み》	プリント	5分
《結び（結）》	《おはなし》 《おしゃべりタイム》	つとめでたすかる／たすける 講座のふりかえり	20分 15分
			(2時間)

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間
各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品


- 自己紹介シート（受講者資料 コピーして使用）
- テーマシート「こんなこと祈っているの？」（ ” ）
- プリント（ ” ）
- ふりかえりシート（ ” ）

プログラム進行表






 総合司会コメント








 講師のお話





 本読み

 おしゃべりタイム

  演習

時間	項目	プログラム	進め方とポイント	方向性・ねらい
		開会 親神様、教祖、祖霊様遙拝 オリエンテーション 講師・スタッフ紹介 講座のねらい 等	○受講者とスタッフで作 り上げる講座である ので協力を呼びか ける。 ※手短かに、要領よく 説明。ポイントをあ らかじめメモをし ておくとよい。	
		今日「いのり」について考えてみましょう。 「いのり」という言葉を辞書で調べると、「神仏に請い願うこと」と書かれてい ました。 もし、目の前に神様が現れてどんな願いでもかなえてあげると言われたら、皆さ ん何を願いますか。何でもいいですから3つ考えてみてください。 順番に自己紹介を兼ねて発表してください。		
15分		〈おしゃべりタイム〉 ・自己紹介・何を願うするか	○自己紹介シートを使 用する。	
		ありがとうございました。 皆さんのいろいろな「願い」が出たことと思います。このように一口に願い祈る といっても、いろいろな願いがあるものですね。		
		これから、10の祈りの例を班別司会の方に挙げてもらいます。それぞれの祈り、 どうでしょうか。こんなこと祈ってもよいのでしょうか。 話し合ってみてください。		
20分		〈おしゃべりタイム〉 ・こんなこと祈っているの？	○「こんなこと祈ってい いの？」のテーマシー トを使用する。	
		いろいろ意見も出たことと思います。 それでは各班の意見を聞いてみましょう。		

10分		<p>〈全体発表〉</p> <p>・こんなこと祈っていいの？</p>		
		<p>それではここで講師に「祈る」ということについてお話をしていただきましょう。</p>		
10分		<p>〈おはなし〉</p> <p>・「人のために祈ること」</p>	<p>○祈ることができる幸せ。</p> <p>○自分中心の心を離れて、人のために祈る（願う）ことのすばらしさ。</p> <p>○祈りの対象をもっている安心感。</p>	
		<p>今までの人生で、あの時は本当に真剣に、必死に祈った、願ったという体験はありませんか。各班で話し合ってください。</p>		
25分		<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <p>・祈った／願ったことありますか？</p>		
		<p>「祈る」「願う」ということについて考えてきたわけですが、ここでプリントをいっしょに読ませていただきましょう。</p>		
5分		<p>〈本読み〉</p> <p>・プリント</p>	<p>○講師に合わせて、全体で声を出して読みます。</p>	
		<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、講師からまとめのお話をさせていただきます。</p>		

20分		<p>〈おはなし〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おつとめのありがたさ」 ・「つとめでたすける、つとめでたすかる」 	<ul style="list-style-type: none"> ○よろずたすけのつとめ（祈り）である。 ○人のために祈り、おつとめをつとめる大切さ。 ○つとめによって人もたすかり自分もたすかる。 ○日々おつとめをつとめるよう呼びかける。 	
		<p>今日の講座をふりかえって、今の気持ちを率直に書いてみてください。 このふりかえりシートはご提出いただくものではないので、お気軽に書いて下さい。</p> <p>みんなが書き終わったら班で発表してください。 項目ごとに一回り順番に発表してください。 全部済んだら今日の感想や気持ちを自由に話してください。</p>		
15分		<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座のふりかえり 	<ol style="list-style-type: none"> ① テーマシートを配ります。 ② 各自、記入してもらいます。 ③ 記入ができたら班内でひとりずつ順番に発表してもらいます。 ④ 自由に話してもらいます。 	
		<p>本日はご参加いただきましてありがとうございました。 (次回の参加案内があれば渡す)</p> <p>最後に一つお知らせがございます。今日、皆さんと共に勉強させていただいた内容以外にも、もっとお道の教理について学びたいという方のために、おちばでは「三日講習会」というものが開催されています。詳しくは所属の会長さんにご相談ください。</p> <p>本日は、これで終了いたします。ありがとうございました。</p>		
		<p>閉会 親神様、教祖、祖霊様遥拝</p>		

「さあ おつとめ」

〈いのり ～親神様との対話～〉 受講者資料

《自己紹介シート》

・私は () から来ました
() です。

●三つのお願い

○

○

○

「さあ おつとめ」

〈いのり ～親神様との対話～〉 受講者資料

《テーマシート こんなこと祈っていいの?》

- ① 3億円当たりますように
- ② ポックリ逝きますように
- ③ 勉強せずに志望校に合格しますように
- ④ 好きなだけ食べてもやせますように
- ⑤ ライバルが失敗しますように
- ⑥ (かけっこが苦手なので)運動会が雨で中止になりますように
- ⑦ 彼が奥さんと別れてくれますように
- ⑧ あの人に罰が当たりますように
- ⑨ 息子の嫁にも別席運んでもらいたいので、嫁が身上になりますように
- ⑩ パチンコで勝てますように

《 × モ 》

祈り (565)

祈ること、祈願、祈念をいいます。この祈りには、願う意味だけでなく、神の恵みに感謝することも含まれます。広い意味では、神と人間との対話、神と人間との内面的なふれあいであり、祈りは宗教の中心部をなすものです。祈りを通して、人間は神と対面し、心の中でふれあい、神と出会うことができるのです。

「おふびなまに」

しんぢつに 心さだめて ねがうなら

ちゅうめぢびにちゅうめぢびに いまの まあにも 七号 43

しんぢつの 心あるなら なになりと

はやく ねがえよえ すべてに かなうで 七号 46

と教えられているように、真実の心を定めて親神様に願うなら、親神様はその心を受け取って不思議なお働きをすぐにでも見せてくださるのです。

私たちがつとめるおつとめは、まさに親神様への祈り、願いです。教祖は、よろずたすけを親神様に祈り、願うために、おつとめをお教えくださったとも言えましょう。